

本と読解力、文章構成能力の調査

四ツ車 昌 (21811379ay@tama.ac.jp)

小林 拓視 (21811135tk@tama.ac.jp)

1.目的

私たちの班はLINEやTwitter等SNSの普及により、短文でも相手にメッセージを送ることが可能になった。しかしその反面、長文で送る機会が減少し、若者の文章構成能力が低下しているのではないかとまた長文を読む機会がSNSの普及前より少なくなり、読解力が低下しているのではないかと考える。これらについて私たちは本を読む読まない人では文章構成能力及び読解力に差があるのではないかと仮説を立てた。読書と文章構成能力及び読解力の関連性を調査したいと思う。

2.方法

Googleフォームを用いて、私たちが考えた質問を作成し、それに回答してもらう。

3.結果

Q1 これまで読解力と文章作成で困った経験があるのは、読解力72%、文章作成90%

Q2 月に本を全く読まないのは59%、1冊読む人が23%、2冊が7%、3冊が4%、4冊が2%、5冊以上が5%

Q3 読解力に自信があるのは、本を読む人が約35%、読まない人は約20%

文章作成能力に自信があるのは、本を読む人が約32%、約4%

Q4 読解力問題1 「アミラーゼという酵素はグルコースがつながってできたデンプンを分解するが、同じグルコースからできていても、形が違うセルロースは分解できない」この文脈において、以下の文中の空欄に当てはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。「セルロースは()と形が違う」1.アミラーゼ 2.デンプン 3.グルコース 4.酵素

本を読む人の正解率は約32%、読まない人の正解率は約35%

読解力問題2 「Alexは男性にも女性にも使われる名前で、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。」この文脈において、以下の文中の空欄に当てはまるもっとも適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。「Alexandraの愛称は()である。」1.Alex 2.Alexander 3.男性 4.女性

本を読む人の正解率約70%読まない人の正解率は約53%

4.まとめ

本を読まない人は本を読む人に比べて読解力や文章作成能力に自信が無い人が多い。特に文章作成能力に関しては本を読んでいない人は自信がある人がほとんどいない。本を読んでいるからといって、必ずしも読解力が高いというわけではなく、全体的に正答率が低い問題だとあまり関係が無かった。読解力は今本を読んでいるかではなく、中学の時等にどれぐらい本を読んできたかで決まるのではないかという仮説ができた。